

## 議 事 録

会 議 名	平成 29 年度第 4 回 介護・医療連携推進会議
開 催 日	平成 30 年 1 月 17 日 (水)
開 催 時 間	13 時 30 分から 14 時 30 分まで
開 催 場 所	マナビータ・プラザ 1 階 応接室
出 席 者	<input checked="" type="checkbox"/> (市立西脇病院地域医療室) <input checked="" type="checkbox"/> (西脇市民生委員・児童委員協議会) <input checked="" type="checkbox"/> (介護支援専門委員) <input type="checkbox"/> (西脇市長寿介護課 課長補佐) <input checked="" type="checkbox"/> (西脇市社会福祉協議会 訪問看護ステーション) <input checked="" type="checkbox"/> (めぐみ訪問看護ステーション) <input checked="" type="checkbox"/> (オリーブ小野訪問看護ステーション) <input checked="" type="checkbox"/> (あさひ居宅・アセスメント担当看護師) <input checked="" type="checkbox"/> (ヘルパーステーションあさひ、あさひサポートセンター統括主任) <input checked="" type="checkbox"/> (あさひサポートセンター管理者兼計画作成責任者) <input checked="" type="checkbox"/> (福祉事業部統括次長)  ※敬称略
司 会	.....
書 記	.....
議 題	1. 開会のあいさつ ..... 2. 出席者自己紹介 ..... 3. 12 月末日時点のサービス実施状況報告 (別紙資料) ・サービスの提供状況、近年 1 年の関わりのケースについての意見 ➤ 認知症の利用者が増加傾向にある。必然的に、身体介護より生活援助が増えており、提供時間も割かれてしまっているのが現状。 ➤ 生活支援を総合事業で依頼となるのも、“要支援”の括りがあり、厳しい。自費サービスとなると、利用者の負担が大きい。 ➤ 課題として、第 7 期西脇市高齢者安心プラン (案) では、パブリック・コメントの意見を参考に計画を決められるので、ヘルパー部会でデーターをまとめ提出することで市に動きがあるのではないか。 ➤ 老々介護・高齢者世帯・認知症の方の独居が増えてきている。老人会やお一人暮らしの食事会に参加して、“元気な人・皆さんと混じわりのできる人” 誰かのお世話にならないと行く事ができない方は来られていない。 特養の施設にはすぐに入所ができない。認知症の方がおひとり暮らしで居られるがご近所の方から「入所してもらいたい。」といわれに来られる事がある。(地域より) ➤ インフォーマルのサービスの財源がない。通院援助もケアマネがやっちゃってることがあるのではないか。買い物や生活の見守りからサービスに繋がり、「その人らしく、その人の生活を続けて差し上げたい。」(看護) ➤ 認知症の利用者が増えてきている。薬が飲めていないからと医師から指示が来る。受診に繋がらないケースがある。(看護) ➤ 癌末期の利用者が在宅治療で増えてきている。最期まで排泄も自分で出来るよ

う、夜の排泄もその人ができるタイミングに合わせられよう、入浴も昼ではなく、その人の希望の時間にできるようなサービスに努めていけたら。

4. 「定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス 自己評価・外部評価」についての外部評価からの当該サービスの改善点

- ▶ 専門技術の向上の取り組みのため、利用者ごとの情報の共有を徹底してゆけるよう努める。
- ▶ 介護職・看護職間の相互のため、今後も合同研修の計画する
- ▶ 組織マネジメントの取り組みでは、人材不足が課題である。  
平成 30 年度の市の取り組みとして、当該サービスを他の事業所に一部委託し、市内全訪問介事業所で支えるシステムが掲げられる。」
- ▶ 当該サービスの概要や効果等の地域に向けた情報の発信について、効果の良いアピールとして、地域に発信していただけるよう機会をお願いする。  
(民生委員協議会で西脇市 10 町での月 1 回の定例会)

5. 今後の会議開催日程・開催場所について

※平成 30 年 4 月より、介護・医療連携推進会議の開催頻度が概ね 3 カ月に 1 回以上から概ね 6 か月に 1 回以上と改定となる。

次回開催予定日 : 平成 30 年 7 月 18 日 (水) 13:30～

場所 : あさひ居宅介護支援事業所 2 階

**あさひサポートセンター**